

公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)

2020 年度 (令和 2 年度) 第 2 回臨時理事会 議事録

[1] 開催：2020 年 6 月 24 日 (水) 10:00~11:36

・方式：インターネット ウェブ会議方式

[2] 出席 (理事 23 名、監事 2 名)：

岩城光英、國分孝雄、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、
山倉紀子、鈴木貴里代、和田知子、山根英紀、関根明子、富川理充、豊岡正康、
大関辰郎、園川峰紀、山倉和彦、小林洋、吉田隆雄、宮本悦子、大野徹雄、
須山浩光、宮城直久 (以上、理事 23 名)

荻原政吉、秋山智昭 (以上、監事 2 名)

・オブザーバー (4 名) 中山俊行 (オリンピック対策チームリーダー)、上田藍 (アスリート委員長)、佐藤圭一 (アスリート副委員長)、小池賢
(事業企画委員)

・事務局出席 (8 名) 坂田洋治、土屋佳司、児玉健太、萩原舞、長江千明、大岩葵、内藤裕也、島村直子

[3] 議事の経過

JTU 定款第 6 章 (理事会) 第 34 条 (決議) により、ウェブ会議進行役の坂田事務局次長が出席理事ごとに確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款 33 条 (議長) により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第 23 条 (理事の職務及び権限) による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第 0 号議案) 前回理事会議事録承認

2020 年度第 1 回定時理事会の議事録案について、メール回覧済であることを事務方が報告した後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 2020 年度第 1 回定時理事会 (2020 年 6 月 9 日開催) 議事録案

・補足事項) 議長と出席監事が定款で定められた議事録署名人であることが確認された。なお、慣例的に行われてきた議事録の確認者 2 名も署名することが補足された。

第 1 号議案) 日本選手権開催地日程案

標題について事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 第26回日本トライアスロン選手権(2020)開催基本方針

・説明骨子) 東京都港区お台場海浜公園海域及び周辺特設コースでの11月8日(日)開催を第一目標とする。ただし、東京2020オリンピック

ク・パラリンピック競技大会の設営備品類の残置物、同組織委員会からの各種制約により、8月上旬(8月7日)迄にお台場開催ができないと判断

した場合は、中止とはせずに、各年代別日本選手権(U15、U19、U23、高校生)との併催とする。会場は、岐阜県海津市の国営木曾三川公

園内の長良川水域及び同河川敷。日程は、エリート・U23部門10月17日(土)、他年代別選手権は同18日(日)。

第2号議案) 日本選手権出場基準

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 第26回日本トライアスロン選手権出場基準(案)

説明骨子) 2020年限定の特別出場基準の方針は以下の通り。

・U23選手権は長良川で単独開催として検討を進めることから、エリートの日本選手権のみの基準として策定する

・出場選手の定数を最大30名と設定していたが、男女各40名(最大)とし、ITU-COVID19ガイドラインに基づき会場と調整の上、受け入れ適正人数を8月上旬までに決定する。

・以下の3つの出場枠内で、出場定数によってプランAとBを設定する。

1) NTTジャパンランキング(2020年5月5日現在のITU世界ランキングに準ずる、ロールダウンなし)

プランA(出場定員30名の場合) 男女各1~17位

プランB(出場定員40名の場合) 男女各1~23位

2) ブロック代表(各ブロック最低1名、2019年度会員登録数の比率によって振り分け)

プランA(出場定員30名の場合): 男女各13名

プランB(出場定員40名の場合): 男女各17名

*認定記録会標準記録10級以上であることが条件

3) 特別枠(男女各定数から1)2)の合計を引いた枠数)

認定記録会で5.5級以上の上位順から選出するが、個人測定も可能とする。

補足説明)

・ランキング枠内の選手を強化指定選手に限定する条件は、2020年度では実施せず、2021年度大会からの適用を継続審議する。

・認定記録会の個人測定では、ビデオ撮影導入義務との意見に対し、プール施設によりカメラ使用制限があり、必須条件とはしない。

・NTTジャパンランキングは、ITU世界ランキングの成立によるものとする。成立したら場合は、状況に応じ賞金額とするなどを検討課題とする。

・日本選手権（エリート部門）は、従前どおりの強化費を支給する。

第3号議案) 選手・スタッフの海外渡航に関する承認

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 選手・スタッフの海外渡航判断スケジュール（案）

・説明骨子) 選手・コーチ・スタッフ・役員・委員（会員）の海外渡航（大会合宿参加・会議出席等）に関する方針に準拠しながら、大会初日の40日前までに以下の基準に基づき派遣可否判断を行う。

①大会開催可否の状況

②日本国政府：緊急事態宣言解除の状況

③海外渡航制限（出国・入国）の担保

④開催国・大会組織委員会の指針（各種証明書の準備体制）

⑤ホスト国の安全状況

派遣可能と判断した場合、出国2日前までに上記判断基準の再確認と派遣ガイドラインの準拠の誓約、出発前2週間の健康状態により最終承認を行う。

・補足事項) PCR検査の陰性証明書についてはJTU独自のルートを確保できている他、JOCを通じて費用サポートが受けられる体制になっている。

また、遠征にチームドクターを帯同させることを検討する他、隔離期間中の練習環境についても調整する。

第4号議案) 社員の承認

標題について、大塚専務理事から7都道府県の社員変更について説明があり、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項) 町田春吉（茨城県）、高崎聡（神奈川県）、田口保憲（富山県）、冨木隆夫（石川県）、細木宏樹（奈良県）、北村格一（広島県）

第5号議案) 2019年度事業報告・2020年度事業計画の更新

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくその方向性について承認可決した。

・承認事項) 2019年度事業報告・2020年度事業計画の更新

[4] 報告事項

1) IF 役員委員候補の推薦スケジュールの変更

前回理事会で依頼した役員委員推薦について、アジアトライアスロン同盟 (ASTC) 内での調整日程変更のため6月30日まで延期して受付を行う。

2) 2020 セミナースケジュール

トライアスロンを支えるスタッフや支援者の啓発のためのセミナーは、コーチング・医科学サポート関連及びキッズジュニアの保護者向けに実施してきた。今年度は、感染症の影響で延期となったが、今後、ウェブ活用などの工夫で推進継続したい。

[5] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の臨時理事会すべてが終了したことが告げられ、11時36分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)	(印)	2020年	月	日
(荻原政吉・監事)	(印)	2020年	月	日
(秋山智昭・監事)	(印)	2020年	月	日
(大塚眞一郎・専務理事)	(印)	2020年	月	日
(園川峰紀・理事)	(印)	2020年	月	日

=以上=

...

[メッセージの一部が表示されています] メッセージ全体を表示